

2020年6月25日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ ル ッ タ フ ル ッ タ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 C E O 長 澤 誠  
(コード番号 2586 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 徳 島 一 孝  
TEL. 03-6272-3190

### 債務超過解消による猶予期間の解除に関するお知らせ

当社は、2019年3月期（第17期）において債務超過の状況となり、株式会社東京証券取引所における上場廃止に係る猶予期間入り銘柄となりましたが、本日（2020年6月25日）、有価証券報告書を関東財務局に提出した結果、2020年3月期（第18期）において債務超過を解消したことにより、猶予期間入り銘柄から解除されましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

#### 1. 対象となる法定開示事項

有価証券報告書（第18期 自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

#### 2. 債務超過解消に至った経緯

当社は、2019年3月期において775百万円の債務超過となり、財務面において、2019年12月13日付「第三者割当による第7回新株予約権発行及び新株予約権の買取契約の締結に関するお知らせ」、2020年3月2日付「A種種類株式並びに第8回及び第9回新株予約権の発行（債務超過解消に向けた取組み）」及び2020年3月19日付「A種種類株式並びに第8回及び第9回新株予約権の発行（債務超過解消に向けた取組み）」に関する一部変更のお知らせにてお知らせいたしました。第9回新株予約権行使により約626百万円、デット・エクイティ・スワップの実行により約496百万円、及び第7回及び第8回新株予約権行使により約319百万円の合計約1,442百万円の資本増強を実施いたしました。

事業面では、業績回復を目指し、2020年3月期において、HPP（非加熱高圧処理）を用いた冷凍チルド商品である「FRUTA PRESS」シリーズの販売、東京オリンピック開催に合わせたアサイープロテイン等のスポーツ関連新商品の販売開始、各メディアに向けた広報活動など、販売促進活動を積極的に続けてまいりました。しかしながら、売上高に関しては、廃棄ロスの回避及び利益率の改善のため、一般量販店用向けの商品販売を中止する販売戦略をとったことにより大幅な減少が生じたこと、期末には新型コロナウイルスによる東京オリンピックの開催延期及びスポーツの自粛要請により、スポーツ関連のプロモーションによる売上獲得につながらなかったこと等から、2020年3月期の売上高は938百万円（前事業年度比23.2%減）となりました。

他方で、利益面につきましては、HPP（非加熱高圧処理）による冷凍チルド商品の発売により賞味期限切れ廃棄の低減につながりました。また、当社の課題であるアサイー原材料在庫の消化についても計画に従い順調に推移している状況にあります。販売費及び一般管理費においては、オリンピック需要からの倉庫料の高騰及び運送費の値上げ、販売施策のプロモーション取組みにより広告宣伝費等の増加がありました。販売員による店頭販売を一部見直し、販売促進費の経費を削減し、さらに、機動的な業務体制にシフトし、経費削減に取り組んだことで、前事業年度に比べ38百万円減少し624百万円となりました。

この結果、2020年3月期は、売上総利益は217百万円（前事業年度は売上総損失88百万円）、営業損失は406百万円（前事業年度は営業損失751百万円）、経常損失は443百万円（前事業年度は経常損失779百万円）、当期純損失は440百万円（前事業年度は当期純損失795百万円）となり、継続的に損失を計上しているものの、それぞれ前事業年度から改善し、また、上記の資本増強策の実施の効果もあり、2020年3月31日までに債務超過の解消に至りました。

#### 3. 今後の見通し

新型コロナウイルスによる市場混乱の中、当社としては原価率の低減や原材料在庫の圧縮をはじめとする売上原価の低減による売上総利益率のさらなる改善に加え、販売管理費の徹底した削減に努めてまいります。売上面では、新しい生活様式に即応し、通信販売の強化、デリバリーメニューの提案に対応する業務用商品の発売や、既に発表したアサイーの造血機能の機動的

なプロモーションにより、時代が求める免疫力の訴求にフォーカスした小売商品の市場投入により拡大させていく所存です。現時点で、2021年3月期の業績予想は未定としておりますが、新型コロナウイルスによる影響を踏まえた今後の状況が判明した時点で速やかに開示させていただきます。

以上